

平成23年

11月号

(563号)



広報

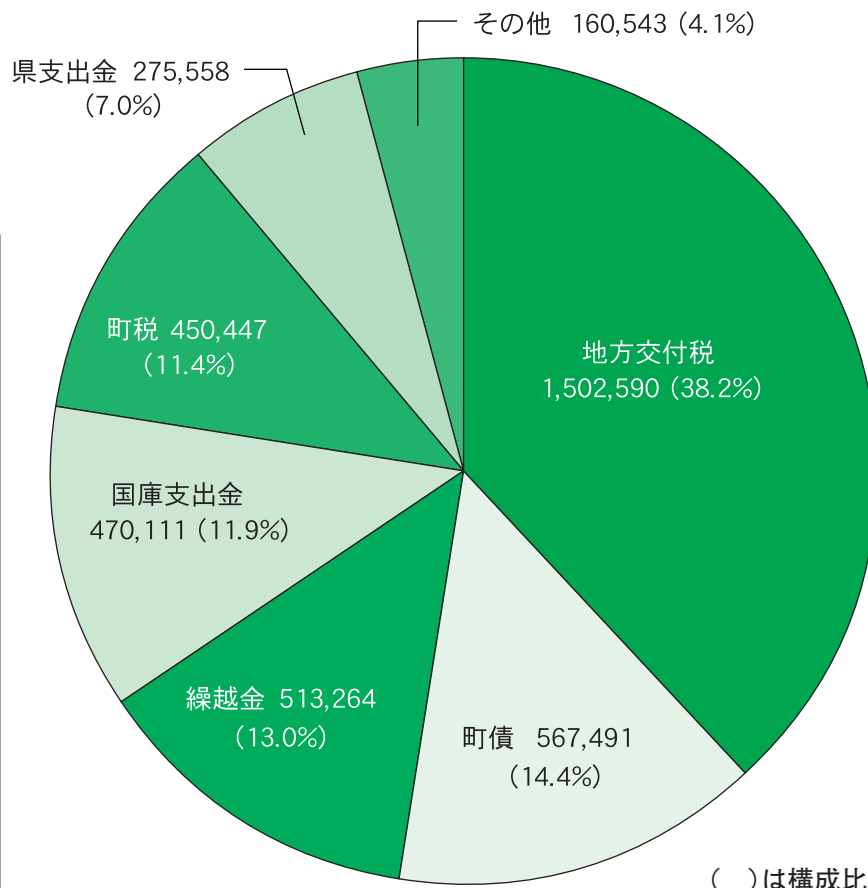
かねやま

紅葉に染まる沼沢湖でカヌーを楽しむ
(ふくしま子ども元気村：記事 11 ページ)

平成22年度決算報告

歳入総額

39億4,000万円



用語解説

地方交付税

国から町に交付される交付金

町債

町の借入金

国庫支出金

国からの補助金や委託金など

県支出金

県からの補助金や委託金など

町税

町民の皆様が納めた税金

緑入金

基金などからの緑入金

()は構成比

その他には、緑入金、緑越金、地方譲与税などがあります。

一般会計決算の概要

平成22年度一般会計及び特別会計の決算が、町議会10月臨時会で認定されました。皆さんから納めていただいた税金や国・県からの補助金などがどのように使われたのか、平成22年度決算の歳入・歳出の内容や個別事業の決算額、財政の健全性に関する指標となる健全化判断比率などをお知らせします。

実質収支額

歳入から歳出を差し引き

平成22年度の一般会計決算額は、前年度と比べると歳入が5億477万5千円(14.7%)の増、歳出が10億2,378万6千円(35.5%)の増となり、近年にない大型決算となりました。これは、光ファイバー網の整備や学校施設の耐震化事業の大規模な事業を実施したためです。

平成22年度一般会計では、町民一人当たり152万7千円が使われた計算です。(平成22年4月1日現在の人口2,557人で計算)

なお、目的別歳出入訳、特別会計決算、健全化判断比率、資金不足比率は4ページでお知らせします。

た収支は3,425万3千円の黒字ですが、この中には平成22年度で完了しなかったため平成23年度で引き続き実施する事業などに使う財源9,227万8千円が含まれています。これを差し引いた平成22年度の実質的な収支は5,802万5千円の赤字となりますが、これは、東日本大震災の影響で国からの補助金の収入が遅れたことが原因で、財政状況が悪化したものではありません。

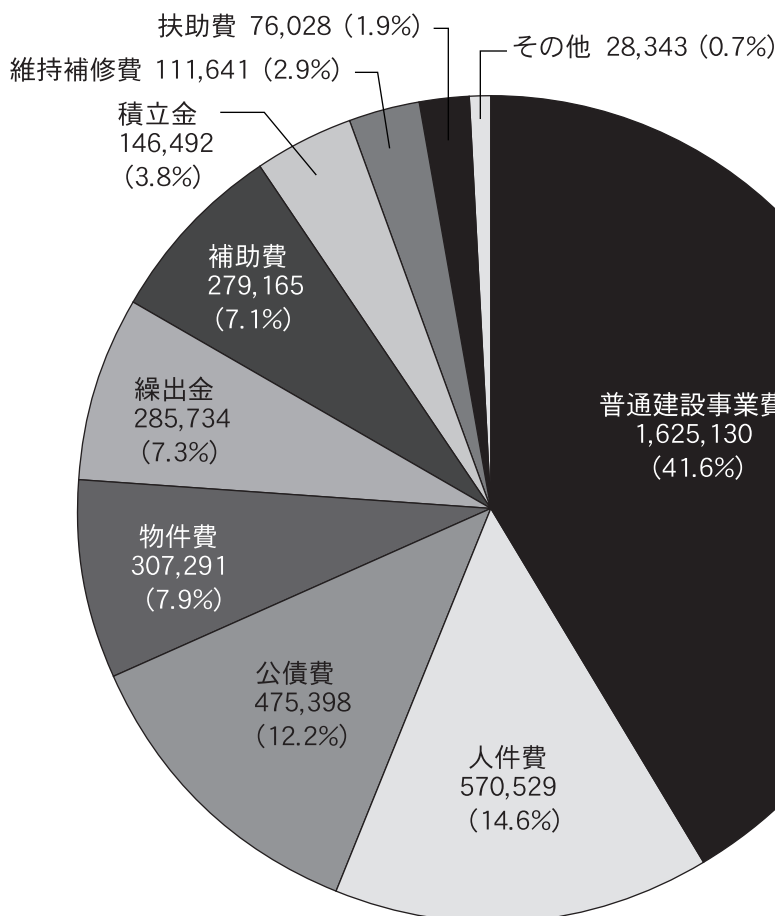
10月15日付、福島民友紙上で、実質的収支が赤字になったことについて「震災の影響による職員のミス」と掲載されましたが、「国の事務処理の関係」の誤りでした。

歳出総額

39億575万円

用語解説

- ・ **公債費**
町が借り入れた町債の返済金
- ・ **人件費**
議会議員や各種委員の報酬、職員給与など
- ・ **扶助費**
福祉対策等の社会保障にあてる費用
- ・ **物件費**
需用費、備品購入費など
- ・ **積立金**
基金等への積み立て
- ・ **補助費**
さまざまな団体等へ払う補助金や報償費
- ・ **繰出金**
特別会計の事務経費等
- ・ **普通建設事業費**
町道の改良工事等
- ・ **維持補修費**
町施設の維持保全等



()は構成比

その他には、貸付金、災害復旧費、出資金があります。

その他の経費

歳出のうち、投資的経費と義務的経費以外の経費は、前年度に比べて、4, 6 7 9 万円 (4. 4 %) の減となっています。

項目及び額 (前年比)

- ・ 物件費
3 億 7 2 9 万円
(4. 4 % 増)
- ・ 積立金
1 億 4, 6 4 9 万円
(2 2. 7 % 減)
- ・ 補助費
2 億 7, 9 1 6 万円
(0. 6 %)
- ・ 繰出金
2 億 8, 5 7 3 万円
(5. 1 %)

義務的経費

人件費、公債費及び扶助費からなり、支出が義務付けられている義務的経費は、全年度に比べて、3, 0 2 6 万円 (2. 7 %) の増となりました。

項目及び額 (前年比)

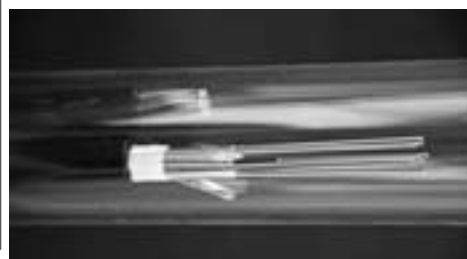
- ・ 公債費
4 億 7, 5 3 9 万円
(1 0. 4 % 減)
- ・ 人件費
5 億 7, 0 5 2 万円
(1. 2 % 増)
- ・ 扶助費
7, 6 0 2 万円
(1 0. 9 % 増)

投資的経費

普通建設事業費と災害復旧費からなり、施設や道路の整備など将来に残るものに対して支出させるものです。

主な事業と事業費

- ・ 光ファイバー網整備事業
6 億 4 8 7 万円
- ・ 安全・安心な学校づくり交付金事業
(金山小学校体育館改築など)
3 億 5, 8 7 7 万円



通信の高度化：光ファイバー事業

一般会計歳出（目的別）

名 前	金 額	構成比(%)	主 な 用 途
総 務 費	13億 945万円	33.5	町行政の管理全般
公 債 費	4億7,540万円	12.2	町債の返済
土 木 費	4億1,436万円	10.6	町道の改良・修繕・道路除雪
民 生 費	3億4,770万円	8.9	高齢者・障害者・児童等の福祉対策
教 育 費	5億4,616万円	14.0	学校施設の整備・耐震化、小中学校教育全般、文化の振興
衛 生 費	2億 432万円	5.2	ごみ処理、簡易水道事業・診療所への繰出し・住民健診
商 工 費	1億2,228万円	3.1	商工業・観光の振興
農林水産業費	2億6,742万円	6.9	林道改良・修繕、農林水産業の振興
消 防 費	1億4,259万円	3.7	消防施設の整備・修繕、災害対策
議 会 費	4,311万円	1.1	町議会の運営
労 働 費	2,424万円	0.6	失業対策、雇用対策
災害復旧費	872万円	0.2	農林水産施設・土木施設の災害復旧事業
合 計	39億 575万円	100	

特別会計

会 計 名	歳 入	歳 出
国民健康保険事業勘定（医療費）	4億1,163万円	3億8,316万円
国民健康保険施設勘定（診療所）	1億3,251万円	1億3,251万円
簡 易 水 道 事 業	1億 765万円	9,667万円
老 人 保 健 事 業	7 万円	7 万円
町 営 バ ス 事 業	1,500万円	1,500万円
農 業 集 落 排 水 事 業	653万円	653万円
介 護 保 険 事 業	4億5,439万円	4億5,219万円
特 定 地 域 生 活 排 水 処 理 事 業	1億 49万円	1億 49万円
後 期 高 齢 者 医 療 事 業	4,551万円	4,548万円
特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 事 業	3,308万円	3,308万円

健全化判断比率

指標名	金山町の比率		早期健全化基準	財政再生基準
	平成22年度	平成21年度		
① 実質赤字比率	2.97	—	15.0	20.0
② 連結実質赤字比率	0.83	—	20.0	40.0
③ 実質公債費比率	11.6	15.5	25.0	35.0
④ 将来負担比率	21.3	27.9	350.0	—

※実質赤字比率が算定されましたが、これは東日本大震災の影響で国庫補助金の収入が遅れ平成23年度に繰越となったため、一時的な歳入不足によるものです。特別会計も含めた町全体の決算でみても、特別会計の黒字で一般会計の赤字を解消できなかったため、連結実質赤字比率も算定されましたが、早期健全化基準を下回るものとなっており、赤字も平成23年度で解消される見込みですので、財政状況が悪化しているものではありません。

資金不足比率

会 計 名	金山町の比率	経営健全化基準
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	—	20.0
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	—	20.0
特定地域生活廃水処理事業特別会計	—	20.0
特定環境保全公共下水道事業特別会計	—	20.0

※資金不足はないため—で表記しています。

町の財政指標

金山町の平成22年度決算でも昨年に引き続き、健全化判断比率、資金不足比率ともに基準を越すものはありませんでした。

町に影響を受けやすく、今後町税などの自主財源の大幅な伸びも見込めないうえ、昨今の突発的な災害などを考えれば、引き続き抑制を基本とした財政運営に努めなければなりません。今後これらの指標などを参考としながら、将来を見据えた財政運営に努めます。

町職員・町特別職の給与などのお知らせ

町一般職員の給与などは人事院と県人事委員会の勧告を基に、町長や議会議長などの特別職の給与（報酬）などは、金山町特別職報酬等審議会の審議に基づき町議会の議決を経て条例により支給されています。

1. 職員給与（一般行政職の平成23年11月現在の平均給料月額が321,916円、平均年齢は40.1歳）

平成23年度給料	期末・勤勉等手当	計
2億6,124万円	9,096万円	3億5,220万円

2. 初任給

	初 任 給
大 学 卒	175,100円
高 校 卒	142,500円

3. 諸手当

	6 月 期	1 2 月 期
期 末 手 当	1.225か月	1.325か月
勤 勉 手 当	0.675か月	0.675か月

4. 職種別職員数（平成23年11月現在）

	一 般 行 政 職						医療職	技 能 労 務 職	計
	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級			
標 準 的 な 職 務	主 事	主 査	係 長 主任主査 主 査	主 幹 係 長	課 長	課 長			
職 員 数	7 人	5 人	20 人	12 人	5 人	2 人	5 人	7 人	63 人
構 成 比	11.1%	7.9%	31.8%	19.1%	7.9%	3.2%	7.9%	11.1%	100%

5. 特別職の給料（報酬）などの状況

	町 長	副町長	教育長	議 長	副議長	議 員
給料(報酬)の月額	701,000円	567,000円	528,000円	253,000円	204,000円	183,000円
期末手当の支給割合	6月期は1.4か月分、12月期は1.5か月分					

6. 一般職員の配置状況（平成23年11月現在）

課係等名	人 員	課係等名	人 員	課係等名	人 員	課係等名	人 員
総 務	8	住 民 福 祉	5	建 設	6	診 療 所	5
政 策 財 政	7	保 健 医 療	4	上 下 水 道	4	保 育 所	6
議会・監査	1	税 務	3	農 林 振 興	4	横田出張所	1
教 育	5	出 納	2	商 工 観 光	2	合 計	63

復興へ向けて



急ピッチで進められる仮橋設置工事（二本木橋）

町では平成23年7月新潟・福島集中豪雨からの復興計画を策定します。役場内にも「復興計画プロジェクトチーム」を設置し、町民の皆さんと共により安全で安心できる町づくりを目指していきます。

金山町復興計画プロジェクト



金山町長 長谷川 律夫

7月29日に我が金山町を襲った未曾有の大災害から3ヶ月以上が経ちました。多くのボランティアの方々や、町民の支えあいによって迅速な復旧作業ができたことに深く感謝申し上げます。

さて、これからの金山町は「災い転じて福となす」という言葉があるように、将来的に「災害を契機に素晴らしい町づくりができた」と言えるような町づくりを進めていきたいと思っています。役場内にも「復興計画プロジェクトチーム」を設置し、より充実した復興計画の策定と復興にむけて努めてまいります。金山町史上最大規模の水害から立ち上がり、復興に向けた一歩を町民とともに踏みだし、安全で住みやすい日本の金山町を築きあげていきたいと思っていますのでご協力のほど宜しくお願い致します。

災害派遣職員を

紹介します

福島県市町村行政課

副課長兼主任主査

須田俊彦さん

9月1日付けで、町の災害復興支援のため県職員の須田俊彦さんが町に派遣され、現在総務課に席をおいています。

自己紹介

いわき市出身です。平成18年から20年まで会津若松振興局に勤務したことがあり、会津地方はなじみ深い土地です。

町の印象

只見川とほぼ並行に走る国道252号から見た景色が素晴らしく、静かでゆったりとした時間の流れが感じられる場所だと感じています。

仕事について

金山町の復興に向けた計画づくりに役場の皆さんと取り組んでいます。地域の皆さんがずっと住み続けていきたいと思ってもらえる町づくりのために微力ながら頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。

◇◇◇ 義 援 金 (10月31日現在) ◇◇◇
総額 112,132,299 円

・東邦銀行より振込まれた方はカタカナ表示になっていきますのでご了承ください。
 (前月号までに掲載された団体、個人は除く)
 (敬称略・10月31日現在)
 ・昭和村の皆様
 ・(社)会津若松法人会
 ・下郷町
 ・川口地区・小栗山地区
 ・八町地区・玉梨地区
 ・西谷地区・本名地区
 ・橋立地区・大志地区
 ・板下地区・宮崎地区
 ・上田地区・水沼地区
 ・上大牧地区・下大牧地区
 ・高倉地区・大栗山地区
 ・福沢地区・三更地区
 ・沼沢地区・太郎布地区
 ・横田地区・上横田地区
 ・土倉地区・西部地区
 ・大塩地区・滝沢地区
 ・田沢地区・山入一地区
 ・山入二地区・越川地区
 ・金山町老人クラブ連合会
 ・感謝のつどいで募金された皆様
 ・金山町商工会女性部
 ・健康と福祉まつりバザー
 ・ごつつおまつり義援金
 ・大滝興業(株)社員一同
 ・東北電力(株)
 ・真言宗御室派青年教師会
 ・事務局長 荒井 祥善
 ・境もえ子・吉田マツエ
 ・若林利美・若林 譲
 ・若林富夫・酒巻裕一
 ・高木俊子・大沢 香
 ・佐藤泰子・竹川栄子
 ・笠原秀幸・加藤 進
 ・加藤睦子・須藤雄介
 ・松本達生・松本弥生
 ・奥 静子・河原崎博之
 ・戸張岳史・鈴木いつ
 ・井出 睦・横田理恵
 ・森田礼子・横関 忍
 ・ハセガワ シゲノリ
 ・匿名希望の皆様

**新潟・福島豪雨義援金の協力に
 感謝申し上げます**

たくさんの団体や個人の皆様から義援金を頂きました。皆様からの温かい善意に感謝いたします。

**災害ボランティア
 として参加された
 皆様へ**

新潟・福島豪雨災害の復旧支援に参加された方はのべ2,607名にのぼりました。このような多くの皆様のご尽力により、災害復旧を速やかに行うことができたことに深く感謝申し上げます。さて、8月28日に行われました「ボランティアセンター感謝のつどい」には多くのボランティアの皆様が参加されました。そのイベントの中で町職員として感謝の意を表す配慮が足りなかった点があったことに深くお詫び申し上げます。感謝のつどいで町長の挨拶にもありましたように5年後、10年後の復興した金山町の姿をボランティア参加された皆様にも是非とも見ていただけるよう、町職員として頑張っておりますので宜しくお願いいたします。

**新潟・福島豪雨災害により
 被害された皆さんへ**

7月の新潟・福島豪雨災害により、自ら居住又は使用していた住宅及び生活用具等に被害を受けた方に対して、町では復興のための借入金に係る利子に対して一部補助を行います。

○対象者

- ・平成23年7月新潟・福島豪雨災害の被災者である証明を受けた者
- ・居住・使用するための住宅及び生活必需品等の建設、購入、補修をする者

○利子補給方法

- ・被災者が前年1月1日から12月31日までに支払った復興資金に係る利子について補給する。

※詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

◎問い合わせ…住民福祉係

☎54-5131

**豪雨災害で農業用機械に被害を
 受けた農家の皆さんへ**

町では、7月の新潟・福島豪雨災害で農業用機械に被害を受けた農家の皆さんを支援するための補助金制度を設けました。

○対象者…作付面積1,000㎡以上(田・畑の合計)の販売農家
 認定農業者の属する農家

○申込期間…平成24年12月31日までに農業用機械を修繕又は再取得する者

○補助率…2分の1以内

※補助対象農業用機械や補助対象金額の上限については下記にお問い合わせください。

◎問い合わせ…農林振興係

☎54-5321

自然の不思議 滝沢川おう穴研修会



自然の不思議に見入る参加者たち

川、福島市飯坂町茂庭地区の摺上川にも存在しますが、おう穴の誕生から崩壊までを示すものは滝沢川だけです。

話題の 散歩道

10月4日、会津美里町在住で元高校教諭の大竹亮作さんを迎えて、滝沢川おう穴研修会が行われました。「滝沢川のおう穴」は大塩の天然炭酸水の井戸からさほど離れていない、滝沢川にあるおう穴群です。おう穴とは、川床の岩のくぼみに小石が入り込み、水流で回転して深く削られたものを言います。別名“ポットホール”とか“かめあな”などとも呼ばれます。水流で削られ滑らかになった大小様々な穴が幾つも繋がり、まるでウォータースライダーのようです。

県内では喜多方市高郷町塩坪地区の阿賀

消費は活力のもと けんじょう 見城美枝子さん講演会

10月8日、御神楽館では青森大学教授の見城美枝子さんによる消費生活啓発講演会が行われ、多くの方が会場を訪れました。見城さんは福島県のしゃくなげ大使にも任命されており、3月11日の東日本大震災、それに伴う福島第一原発事故が福島県全体に与える影響を心配していました。

また、見城さんは消費をすることでお金がまわり世の中に活力が出てくることを説明し、お金を上手に使うことの大切さを話しました。

難しい話だけではなく、時折ユーモアを交えながら話し、会場からも笑い声が上がる講演会となりました。



消費することの大切さを話す見城さん



来場者を笑いの渦に巻き込んだ劇「黒雪姫」

自分たちの思いを表現 金山中学校で文化祭

10月15日、金山中学校では金中祭が開催されました。今年は「We are the one～今 ひとつになるとき～」をテーマに、合唱・英語弁論・職場体験学習など日頃の学習や活動などの成果を発表しました。

その他にも生徒たちによる創作劇の上演や自主製作映画の上映も行われ、会場はそのあまりの面白さに大きな笑いが起こりました。

また、会場の体育館の中には生徒たちによる壁画、書道や絵画や工芸作品も並び、会場を訪れた保護者らはその個性的な作品群に見入っていました。

オーケストラの生演奏を堪能 山形交響楽団公演



指揮を体験する長谷川倭斗くん（橋立）

10月17日、町民体育館では文化庁の子どもの文化芸術体験事業による山形交響楽団オーケストラ公演が行われ、町内の小中学生や一般の方多数がその素晴らしい演奏を楽しみました。

鑑賞のみならず、体験を目的とした今回のコンサートでは、オーケストラの楽器を弦楽器などの種類ごとに紹介があり、それぞれの音の違いを確認していました。

指揮者に挑戦のコーナーでは、各学校の代表3名が指揮者の役割や指揮の仕方の指導を受けた後、「ラデッキー行進曲」を指揮しました。一人ひとりの個性があふれる演奏に会場は大いに盛り上がりました。

防災の誓いを新たに 金山町消防団秋季検閲式

10月9日、雲一つ無い秋晴れのもと中川グラウンドで金山町消防団秋季検閲式が行われました。

長谷川町長は「7月29日に発生した豪雨災害において、人的被害がなかったことは消防団員や地域の方々の迅速で適切な判断があったからだと思います。改めて、消防団各位の日頃のご研さんを思い知り、地域の支えあいを感じることができました」と消防団への感謝の気持ちを話しました。

また、式では第2・3分団による中隊訓練停止間が行われ、指揮者の五十島守正さん（沼沢）の号令で、団員の皆さんは訓練の成果を披露しました。



一糸乱れぬ行進を披露する消防団

炭をまいてナラ枯れ防止 日本の森を元気にするいのちの森づくり



ナラ枯れ防止の炭をまく参加者

ナラなどの広葉樹が集団枯死して山が荒れる「ナラ枯れ」が、日本各地で広がっています。近年、当町でもナラ枯れが見られるようになりました。原因とされている体長数ミリの甲虫カシノナガキクイムシはもともと日本にいる在来種ですが、近年の爆発的な被害拡大の背景には森の環境の変化などがあるようです。

10月10日、大栗山・沼沢地区の国有林ではNPO法人森びとプロジェクト委員会によるナラ枯れ防止のための炭まき作業が行われました。炭まきは土壌の酸性化が樹木を弱め、それが被害を拡大させているという考えから発案されたものです。炭まきには町内外から100名近い参加者が集い、プロジェクトの成功を願っていました。

日独交流150周年記念事業 川口高等学校に希望の樹

わき日独協会が21本を受けとり、川口高等学校の本馬校長が同協会と親交があることから実現したものです。菩提樹には7月の新潟・福島集中豪雨により町が大きな被害を受け、そこで生活し学んでいる子どもたちを励ます意味合いが込められています。

菩提樹植樹の後、いわき日独協会が若者支援として取り組むヒップホップダンスの特別授業が同校体育館で行われ、生徒たちは楽しい汗を流しました。



ヒップホップで汗を流す生徒たち



植えた菩提樹の前で記念撮影

旬をいただきます 奥会津ごっつおまつり

新潟・福島豪雨、東日本大震災災害復興として奥会津ごっつおまつりが10月22日、23日町民体育館周辺で開かれました。会場には様々な郷土料理の他、赤カボチャや大源流米など町の特産品が並びました。

初日はあいにくの雨模様でしたが、午前中から多くの方が来場しました。昼には当町と交流のある飯館村の菅野典雄村長が来場し「飯館村は原発事故で大変な被害をこうむりました。金山町も洪水による被害で大変だとは思いますが、共に前向きに歩んでいきましょう」と挨拶し、来場者から大きな拍手が起きました。



たくさんの来場者でにぎわう会場

かねやま健康と福祉まつり 放射線の知識を身につける講演会



放射線について熱心に話を聞く来場者

10月23日、かねやま健康と福祉まつりは町民体育館で行われました。体育館には書画や菊花のほか、7月の新潟・福島集中豪雨による被災者の復旧作業の原動力となったボランティアの方々やボランティアセンターの活動の記録が展示されました。

また、「放射線（能）に関する基礎知識とヒトへの影響」と題した放射線医学総合研究所・放射線防護研究センターの根井充（ねのいみつる）先生による講演会も行われ、たくさんの方が来場しました。根井先生は「放射線は福島第一原発の事故が起こる以前からも自然界に存在しています。放射線の性質を正しく理解し、過剰に怖がらないことが大切です」と話しました。



木登りを楽しむ子どもたち

沼沢湖の自然を満喫 ふくしま子ども元気村

10月29日と30日、「第2回ふくしま子ども元気村」が開催されました。これは、原発事故の影響で屋外での活動が制限されている県内の子どもたちに、金山町で野外活動などの体験学習を楽しんでもらおうという企画です。NPO法人ソーシャルファーム金山が主催し、企画・運営は7月末の豪雨災害に際して復旧活動を行った複数のボランティアグループと、町内外の有志が行いました。

今回は福島市などから11家族の親子が参加し、沼沢湖でカヌーを漕いだり湖畔で料理をしたり、大自然の中で思いっきり遊ぶことができました。

地域の輪で芸術・芸能を披露 川口・沼沢地区文化祭

11月3日の文化の日、川口地区と沼沢地区で文化祭が開催されました。本名地区と横田地区は7月の豪雨災害のため今年は開催を見送りましたが、会場となった開発センターと沼沢公民館には地区以外の方も多数訪れ、芸達者なステージ発表や力作ぞろいの展示物を鑑賞しました。またお昼には各会場、婦人のグループがお餅や焼きそば、豚汁、いなり寿司などを用意し、来場者はごちそうに舌鼓をうっていました。



マル・マル・モリ・モリを踊る子どもたち（沼沢地区）



艶やかな舞踊「天城越え」（沼沢地区）



中学生によるバンド演奏（川口地区）



白熱した縄より競争（川口地区）

お知らせ

募 集

消雪工事で雪片付けを楽に

町では、高齢者世帯の家屋周辺の消雪工事などを行う場合に工事費の一部を補助します。現在、来年度の工事に対する補助の申し込みを受け付けています。

なお、過去に補助を受けた方は10年経過している場合に限り対象とします。

▼対象世帯

同居の世帯員全員が60歳以上で世帯主が65歳以上の世帯

※障がいをお持ちで同居されている方は、60歳未満でも対象とします。

▼対象工事

消雪用水配管・井戸ボーリング・ポンプ設置・玄関先の舗装など

▼補助金額

工事費の2分の1
(市町村民税非課税世帯は補助金上限額が25万)

今月の納税

●●●●●
国民健康保険料
後期高齢者医療保険料
介護保険料
水道料
生活保護料
育英料
使用料
保険料
材料料

11月4日
11月4日
11月4日
11月4日
11月4日
11月4日
11月4日
11月4日
11月4日
11月4日

納期限は

11月30日です

納め忘れにご注意ください

円、市町村民税課税世帯は15万円です)

▼申込先

住民福祉係・区長・民生児童委員まで

▼申込期限

11月30日(水)

◎問い合わせ：住民福祉係

☎54-5131

町内保育所の入所児童募集

保育所では、平成24年度の入所児童を募集しています。入所資格は、平成18年4月2日以降に生まれ、家庭で十分な保育をすることができない幼児です。

平成24年4月から入所を希望する方は、入所申込書を提出してください。

なお、4月以外に入所を希望する児童の申し込みは随時受け付けています。

▼受付期間

12月1日(木)～

12月15日(木)

案 内



元気に育つ子どもたち

野菜の栽培講習会

町では、安心で安全な野菜の栽培に向けた講習会を次のとおり開催します。今回は、野菜の栽培に欠かせない土壌づくりがテーマです。畑の土を100グラム持参すると、その場で土壌分析ができます。これ



特産品の金山赤カボチャ

からの土壌づくりにお役立てください。

▼開催日

11月17日(木)

▼開催場所・時間

横田出張所大広間

午前9時～

午後1時30分～

◎問い合わせ：農林振興係

☎54-5321

これから予定

★11月★

16日(水)

・運転免許更新

午前9時～開発センター

17日(木)

・リハビリ教室

午前9時～ ゆうゆう館

23日(祝)

・無人販売所

ありがとうセール
午前10時～会津川口駅前

★12月★

1日(木)

・乳児相談

午前9時30分～

2日(金)

・膝・腰痛予防教室

午前9時30分～

8日(木)

・リハビリ教室

午前9時～ ゆうゆう館

9月(金)

・行政相談

午前10時～開発センター

12日(月)

・膝・腰痛予防教室

午前9時30分～

横田出張所

インフルエンザ早めの予防接種を

この冬の流行に備えたインフルエンザワクチン接種事業が始まりました。予防接種をしたからといって、必ずしもインフルエンザにかからないわけではありませんが、重症化を予防することや、地区の流行を最小限に抑える効果があります。本格的な流行の前に、早めに接種を希望される方は、実施してください。

町では、インフルエンザ予防接種の費用を一部助成しています。助成する期間が昨年より短くなっていますので、ご注意ください。

なお、助成する期間は下記のとおりです。

◎問い合わせ：保健医療係
☎ 54-5135



接種費用

区分	住民負担額	助成の概要
生活保護世帯、町民税非課税世帯	0円	町が全額補助
妊婦	0円	町が全額補助
0歳から高校生まで	0円	町が全額補助
高校卒業から65歳未満まで	3,600円	助成なし
65歳以上	1,000円	町が2,600円を補助

○助成期間

平成23年
12月31日まで

○接種回数

13歳未満の方 2回
それ以外の方 原則1回

子ども手当の手続き

10月分より新たな法律で子ども手当が支給されます。そのため中学生までのお子さんをお持ちの方すべてに、認定請求をしていただく必要があります。継続して受給される見込みの方には個別に案内通知を送付していますので、ご確認のうえ、お早めに手続きされるようお願いいたします。

出生や転入で新たに対象となられる方については、その日より15日以内に手続きが必要なので、至急担当までお知らせください。

公務員の方は、従来どおり各職場での手続きとなりますので、人事給与担当課にお尋ねください。

◎問い合わせ：保健医療係
☎ 54-5135

鳥獣の狩猟が解禁

福島県で狩猟者登録を行った方は11月15日から狩猟可能区域で、狩猟を行うことができます。マナーを守り、快適な狩猟を行ってください。

▼狩猟期間

11月15日（火）～

2月15日（水）

◎問い合わせ：農林振興係
☎ 54-5321

ありがとうセール

金山町無人販売所生産者協議会では、1年間の感謝を込めたありがとうセールを開催します。セールでは野菜・漬物・餅などの郷土の味を販売します。

▼日時

11月23日（祝）

午前10時～

▼会場

JR会津川口駅前

◎問い合わせ：農林振興係
☎ 54-5321

青色申告決算説明会

平成23年分決算へ向け、決算説明会を個人事業主の皆様向けに開催します。

▼開催日時

12月14日（水）

午後2時～午後3時30分

▼会場

金山町開発センター3階 大会議室

◎問い合わせ：

会津若松税務署

個人課税第一部門
☎ 0242-274311

電話帳の回収

NTT東日本では、12月中に電話帳を各家庭や事業所へお届けします。現在お使いの電話帳は、新しい電話帳と取り替えますので、配達員にお渡しください。

なお、不在などで配達員に古い電話帳を渡せなかった場合は、後日改めて回収に伺いますので次のところまでご連絡ください。

◎問い合わせ：

タウンページセンタ
☎ 0120-506-309



にぎわった昨年のありがとうセール

人事

人権擁護委員

10月1日付けで、次の方が法務大臣から人権擁護委員の委嘱を受けました。

- ・横田 耕一（横田）
 - ・栗田 傳三郎（本名）
 - ・星 千恵子（上田）
- 任期は平成26年9月30日までの三年間です。

ご寄付に感謝

ふるさと応援寄付金

次の方から金山町ふるさと応援寄付金をいただいています。

- 匿名希望の方から6万円
ご寄付は金山町の自然環境の保全や地域活性化などの事業に活用させていただきます。

広報送付に対して

- 埼玉県川口市の岩本照子さんから1万円
- 匿名希望の方から1万円
ご寄付は広報紙面の充実に活用させていただきます。ご協力ありがとうございます。

除雪作業にご協力を

町では、皆さんの生活道路確保のために除雪作業を行います。除雪作業には雪押し場の確保が必要になります。皆様のご協力をお願いします。

また、雪で埋没してしまう重要なものには、旗竿などの目印をつけて、雪で埋没しても除雪車の運転手が確認できるようにしてください。

◎問い合わせ…建設係

☎54-5311

会津坂下警察署からお知らせ

会津坂下警察署管内では頻繁ではありませんが、時折、自動車盗難が発生しています。

特に軽トラックは自動車に鍵をさしたままにしていることが多いように感じられます。鍵かけも習慣として行っていれば、車上ねらいなどの被害も防ぐことができますので、車から離れる際には鍵を車にさしたままにせず、確実な施錠をお願いします。

表彰



感謝状を受け取る渡部さん
(写真右)

人権擁護委員

人権擁護委員を3期9年間務められた渡部武志さん（横田）が、任期満了により9月30日付けで退任され、法務大臣から感謝状が贈られました。

伝達は10月20日に役場で行われ、福島地方事務局若松支局長から渡部さんに対して感謝状が手渡されました。

その席で長谷川町長は、在職中のご労苦とご功績に対してねぎらいの言葉を述べました。

『映画鑑賞会開催』

上映映画「おくりびと」（上映時間 130分）

監督 滝田洋二郎

主演 本木雅弘

第81回アカデミー賞外国語映画賞作品

日 時 12月3日（土）
開場・・・13：00
開演・・・13：30

会 場 金山町本名御神楽館

入 場 料 無料

主 催 金山町中央公民館

◎問い合わせ…金山町中央公民館

☎54-5333

金山町議会議員一般選挙

任期満了による金山町議会議員の一般選挙が次の日程で行われます。

○告 示 日：11月22日（火）

○期日前投票：11月23日（祝）
～26日（土）

○投 票 日：11月27日（日）

※期日前投票所・投票時間

金山町役場2階

午前8時30分～午後8時

横田出張所1階

午前8時30分～午後8時

◎問い合わせ…選挙管理委員会

☎54-5215

秋の全国火災予防運動

期 間 平成23年11月 9日(水)～
11月15日(火)

スローガン

『消したはず 決めつけないで
もう一度』

～火災のない安心して暮らせる地域を
作りましょう～

JR只見線の代行輸送について

国道252号滝スノーシェットの通行止めが解除されたので、11月1日(火)から会津宮下～只見間まで代行輸送をしています。

只見～太白川間は、道路状況の確認等をしながら代行輸送の検討をしています。

◎問い合わせ…会津川口駅

☎54-2053

原子力損害にかかる法人及び個人事業主の 損害賠償に関する「個別相談会」開催について

福島第一原発事故による法人及び個人事業主が被った風評被害等による損害に対する賠償の仕組みや具体的な手続きについての「個別相談会」を継続して開催します。

1. 対 象

本件事故による風評被害等で損害を被られた金山町で事業を営む観光業、商工業、サービス業、農林業等の事業主・関係者

2. 日 程

受付時間は、全日程とも10時～16時です。(予約不要)

日 程	場 所
11月12日(土)	開発センター 2階 研修室
11月17日(木)	開発センター 2階 研修室
11月24日(木)	横田出張所 1階 和 室
12月 1日(木)	開発センター 2階 研修室
12月 8日(木)	開発センター 2階 研修室

◎問い合わせ…東京電力(株) 福島補償相談室(コールセンター)

☎0120-926-404 (9～21時・通話料無料)

金山町役場 震災支援対策本部

☎54-5111

《空き物件募集について》



有効に活用したい古民家

福島県会津地方振興局では、現在空き物件の情報をホームページで発信しております。

古民家は、住居や別荘として田舎暮らしを希望する方々にとって魅力的な財産として注目されていますが、紹介が可能な住宅が少ないのが現状です。

ご自分が所有する古民家を、田舎暮らしを希望する方々の住まいとして利活用してみませんか。

登録は町を通じて行いますが、詳しくは次のところにお問い合わせください。

・福島県会津地方振興局

☎0242-29-5292

E-mail: aizu.kikakushoukou@pref.fukushima.jp

URL: <http://www.pref.fukushima.jp/aizu/shinko/akiya/>

◎問い合わせ…商工観光係 ☎54-5327

冬 期間の漏水にご注意ください

これからの冬期間に水道管が凍結、破裂し雪解け後漏水に気付くことがよくあります。水道管の凍結予防や、自分でできる漏水の有無を確認する方法についてお知らせします。

水道管凍結の予防法

- ・水道管が露出している場合は、水を吸収しない専用の保温材などを巻く。
- ・凍結防止帯（電熱線）などを設置する。
- ・電熱線を使用している方は、コンセントが入っているか確認する。

長期不在時には閉栓がお勧めです

住宅などを長期間不在にする時の漏水防止には、止水栓を閉める「閉栓」をお勧めします。閉栓の手数料は、1回につき577円です。止水栓の開閉栓時に積雪がある場合は、止水栓及びメーター付近の除雪をお願いします。止水栓の位置が分かるように目印を立てるのをお勧めします。また、不凍水抜き栓がある場合は、しっかり閉めてください。水道メーターの検針は、

2か月に一度実施していますが、冬期間（1月・3月）は積雪のため検針ができません。漏水事故が発生し修理した場合、地下埋設箇所が容易に漏水が発見出来ない場合は、水道料金の減免が可能です。使用者の管理上の責任で漏水している場合は減免出来ませんのでご注意ください。

閉栓の簡単な流れ

使用者が町へ閉栓の希望日を連絡
上下水道係（54-5315）

↓
使用者と町で日程調整

↓
町で閉栓作業を実施

〈一週間前までにご連絡下さい。〉

水道メーターのチェック

漏水の有無を調べるにはまず初めに、家中にある水道の蛇口を全て閉めてから水道メーターを確認します。水道の蛇口を全て閉めてあるのに、水道メーターにあるパイロットと呼ばれる銀色のこまが、時計回りに回っている可能性があり、漏水している可能性があります。漏水を確認した時や、すぐに町の指定給水工業者に連絡してください。



日頃の確認が漏水の早期発見につながります。

水は限りある資源です。
無駄をなくして有効利用しましょう。

上下水道や水道料金などの不明な点は、次のところへお問い合わせください。

◎問い合わせ…上下水道係
☎ 54-5315

町の指定給水工事業者

事業者名	住 所	電話番号
五ノ井金物店	川口字下岩下1401	54-2541
黒田設備	西谷字沖田527-1	54-2099
安彦水道設備工業	大栗山字切払472-1	55-3108
横田金物店	横田字上原1226-4	56-4038
中丸技研有限会社	越川字稲場1159-2	56-4553
渡部電器店	滝沢字居平1047-7	56-4054

☆新しい本が入りました☆

一般向け 内部被爆の真実

児玉龍彦 著 (幻冬舎)

福島原発事故では、広島原発20個分以上の放射性物質が放出された。国が「測定と除染」に今すぐ全力を挙げなければ、子どもと妊婦を守れない。「民間のノウハウを集め、最先端機器を使って全国の産地で食品検査を」「低線量の膨大な放射性物質を処理するための法律の整備を」ー内部被爆研究の第一人者が、政府の対応を厳しく批判しつつ具体的な対策を提言して大きな反響を呼んだ、国会でのスピーチを全文採録。

一般向け 蝉声

河野裕子 著 (青磁社)

稀代の女流歌人、河野裕子の死の前日までの427首を収録。自らの死とそして家族と、どう向かい合ったのか。

児童向け ホネホネどうぶつえん

松田素子 著 (アリス館)

ホネだけだって、だれだかわかる。ホネだけだから、ひみつがわかる。ホネホネたんけんたいどうぶつえんにしゅっぱーつ。

◆図書館の利用状況 (10月分)

月刊貸出冊数 65冊
(うち児童書 37冊)

県立図書館の本を紹介します。

- くさいはうまい
小泉武夫 著 (文春文庫)
- できることからはじめています
廣瀬裕子 著 (文藝春秋)
- 笑ってお料理
平野レミ 著
(ちくまプリマー新書)

～お一人様3冊まで、貸出期間は2週間です。土曜日にも利用できます～

◎問い合わせ 中央公民館

☎ 54-5360

あの人この人

10月届出 (敬称略)

こんにちは赤ちゃん

今月は該当がありませんでした

お二人で幸せに

今月は該当がありませんでした

霊よ安らかに

井 草 昇	(86歳)	大 志
渡 部 ミ イ	(82歳)	川 口
岩 渕 太 門	(95歳)	山 入
栗 城 元 次	(94歳)	玉 梨

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

金山町の人口 (11月1日現在)

世 帯 数	1,132世帯 (-4)
人 口	2,528人 (-10)
男	1,194人 (-3)
女	1,334人 (-7)

※ () 内は先月比 住民基本台帳から

宮下病院だより

「薬剤師のつぶやき」

宮下病院 薬剤部

薬剤技師 鈴木 学



ADME ???

今日は、体内で薬がたどる運命についてお話をさせていただきます。

薬は服用してから体外に排出されるまで、私たちの体の中で様々な過程をたどります。それが、ADME (アドメ) です。

ADMEは、専門的に言うと①吸収 (Absorption)、②分布 (Distribution)、③代謝 (Metabolism)、④排泄 (Excretion) の頭文字を取った略語です。

薬は、静脈注射を除いて、必ず体の中でこの4つの過程をたどります。

つまり、体内に投与された薬は吸収されて血液中に入り、体内の作用部位に分布して薬効を発現します。役目を終えた薬はその後、主に肝臓などで違った物質に代謝 (解毒) され、糞尿中に排泄されて薬としての運命を終えるのです。

このことを念頭に置いて考えてみると、薬についてより深く理解できるようになります。

例えば、1日1回の服用薬と、1日3回の服用薬があります。高血圧薬や高脂血症薬などの多くは、ADMEにかかる時間が長いので1日1回の服用となります。

逆に、解熱鎮痛薬や抗生剤などの多くは、ADMEにかかる時間が短いので1日3回の服用が必要になります。

また、肝臓や腎臓が弱っている人は、代謝 (肝臓が重要) や排泄 (腎臓が重要) が遅れ、体の中に薬が留まる時間が長くなることから、医師は服用量や回数を適切に調整して処方しています。このように、体の中での薬の運命を知ると、自分の愛用薬の用法用量はきちんと守りたくなるものですね。

福島県立川口高等学校長

ほんま ただゆき
本馬 忠幸 さん

今月は、8月にいわき市にある平工業高等学校から川口高等学校へ着任した川口高等学校校長の本馬忠幸さんに、町や学校の印象などを伺いました。

雪の多さに驚き

「私はいわき市出身で、会津地方は教員になりたてのころ会津若松市の高校に赴任し、2年間ほど暮らした経験があります。金山町には今までプライベートでも来たことがなかったのですが、3月に川口高校に赴任する

ことが決まった時町の様子を見るため、初めて訪れました。その時はまだ雪が壁のような状態になっているところもあり、それが非常に印象に残っています」と本馬さんは金山町の第一印象について語ります。

川口高校の印象

「川口高校は古き良き時代の学校の雰囲気が残っている学校だなという印象を持ちました。生徒の先生に対する態度にしても、非常に素直で年上の人を敬う気持ちを感じられます。意外にこういった校風というものは今は失われてしまっているのです」と本馬さんは生徒たちの印象を述べ「その反面おとなしい部分もみられ、自分

を表現するような、もっと対外的に積極的になれるような教育も必要なのではないでしょうか」とご自身の目指す教育に対する思いを述べます。

自然を楽しみたい

「ドライブが好きなので、休みの日には奥会津のいろいろな所をまわっています。山里の原風景を見ながらのドライブは素晴らしい、会津地方特有の春夏秋冬のはっきりとした季節の移り変わりを堪能したいと思っています」。

雪については若干心配もありますが、近所の方々に教わりながら乗り越えていきたい」と本馬さんはこれらの生活の抱負を述べました。

川口高等学校に着任した本馬校長



生涯学習のマスコット
マナビィくん

ものづくり講座

受講者募集中!

その2 マタタビ細工

雪深い奥会津の冬の手仕事としてマタタビ細工は時代に左右されず静かに受け継がれています。

材料となるマタタビは11月に山から採取し、一定の幅と長さに切りそろえます。道具はすべて手作りということからも、職人の知恵と工夫がマタタビ細工には息づいているのです。

今年度のマタタビ細工講座は、材料を整えるところからスタートします。

金山町老人クラブ連合会と共催、金山町民芸品創作研究会の協力のもと森林環境交付金の助成を受けて開催します。

【開講日】

12月上旬から3月上旬にかけて14日間開催します。



昨年の講習会の様子

◎申込み・問合せ：
金山町中央公民館
☎54-5360

【会場】 ゆうゆう館1階大広間
【募集定員】 20人
【受講料】 年会費 千円
※切出ナイフをご準備ください。

【時間】 午前9時～午後3時
す。日程等はお問い合わせください。

生涯学習
だより
170